

わこうど

平成 21 年 6 月 8 日

第 8 号

森 下 暢 紀

「遭難フリーター」を観て 今 自分が出来ることを考えよう

昨年末あたりから、派遣切りについてマスコミで報道されていますが、派遣労働者とはどういう生活をしているのでしょうか？ また、派遣労働者に対して「自己責任だ！」と言う人たちもいますが、本当にそうなのか？ 私達は考えてみる必要があるではないかと思います。

今の世の中、格差が広がり私達の将来はどうなるのか？ 今の子供たちの将来に希望があるのか？ 本当に努力した者が報われる社会なのか？ 私は疑問を感じています。

先日、親しい仲間たちと「遭難フリーター」というドキュメンタリー映画を観ました。監督は、自らが実際に派遣社員として働き生活していた 1 年間をまるで日記のように撮り続けた映像を編集した作品をとおして、今の世の中の問題点をリアルに訴えていました。

今、会社を去る若い社員が多くいると聞きます。辞めようと思ったり、辞める前にこの映画を観て現実を良く知って、今自分が職場で出来ることを考えて、頑張っって欲しいと思います。